

# 議会傍聴アンケート 報告書 NO.1

※頂きました貴重なご意見・ご提言については、できるかぎり原文のままご紹介しておりますが、当報告書を読んでいただく方にもわかりやすくお伝えするため、一部、加筆修正をしております。

※個人や組織などへの誹謗中傷となる可能性のあるご質問・貴重なご意見は、当報告書ではご紹介しておりません。

※議員個人への貴重なご意見・ご提言につきましては、当報告書では掲載しておりませんが、議員全員で回覧、及び当該議員に伝えております。

## 1. 議会傍聴での貴重なご意見

3月3日(火)のアンケート

NO	貴重なご意見・ご提言	ご回答
1	公共下水道と都市計画税を納めている用途地域が一致しないのは不思議である。また、現在、コリーナへの本管の接続を進めている所だが、まだ片岡・矢板両地区で都市計画税を納めている。用途地域の本管や枝管がいまだに設置されていない所があるのはおかしい。先にそちらを設置するのが当たり前だと思う。都市計画税を上限課税しておいて、何だかんだ理屈をこねて答弁するのはおかしい。都市計画税を納めていない所は後回しにすべきではないか。都市計画税を上限課税している市町村は殆どない。又、課税している割合が矢板市は最も少ない。合併浄化槽の補助が、浄化槽自体から宅内配管まで補助するのは不公平だ。用途地区では、受益者負担であるのに、差が大きすぎるのではないか。	貴重なご意見ありがとうございます。執行部へお伝えさせていただきます。
2	答弁(「努めて参ります」「対策を講じているところ」等あいまい)に対する議員の具体的な再質問(「どの課が」「いつまでに」「どうするのか」)が無く、「おぼろげ」で終わっている。芳しくない双方(行政と議員)の阿吽の呼吸ととられてもおかしくない状況の会議。	貴重なご意見ありがとうございます。より良い質問について考えていきます。
3	一般質問通告は、矢板市HP上でも1週間前にはUPされている。本会議にて詳細掲示答弁は難しいが、ある程度の日程、方向付け、どのように進めていくのかは答弁できると考えるが、そのようなアドバイスの答弁は少ない。市政に不安を感じざるを得ない。	貴重なご意見ありがとうございます。執行部へお伝えさせていただきます。

2026年4月16日

上記のとおり、報告いたします。

矢板市議会議長 宮本 莊山

## 議会傍聴アンケート 報告書 NO.2

※頂きました貴重なご意見・ご提言については、できるかぎり原文のままご紹介しておりますが、当報告書を読んでいただく方にもわかりやすくお伝えするため、一部、加筆修正をしております。

※個人や組織などへの誹謗中傷となる可能性のあるご質問・貴重なご意見は、当報告書ではご紹介しておりません。

※議員個人への貴重なご意見・ご提言につきましては、当報告書では掲載しておりませんが、議員全員で回覧、及び当該議員に伝えております。

### 2. 議会だよりへの貴重なご意見

3月3日(火)のアンケート

NO	貴重なご意見・ご提言	ご回答
1	一般質問に対する行政答弁において、答弁結末が「努める」「検討します」などが殆どであり、議会事務局殿に答弁進捗見える化表を依頼しているが、小生も表を考えてみたので議員殿と共に確認願いたい。一案なので、もっと見やすくDX化していただけるようお願いしたい。(他市と同様にするのではなく突き抜けてください) 答弁進捗管理表ができ、矢板市HPにUPしてもらえれば、市民に透明可視化されることにより、良い意見が多々提案され、矢板市の向上に繋がるものと考えます。	貴重なご意見ありがとうございます。議会だより5月1日号より、一般質問に対する進捗状況について、事業を選定し、順次掲載予定です。

2026年4月16日

上記のとおり、報告いたします。

矢板市議会議長 宮本 莊山

## 議会傍聴アンケート 報告書 NO.3

※頂きました貴重なご意見・ご提言については、できるかぎり原文のままご紹介しておりますが、当報告書を読んでいただく方にもわかりやすくお伝えするため、一部、加筆修正をしております。

※個人や組織などへの誹謗中傷となる可能性のあるご質問・貴重なご意見は、当報告書ではご紹介しておりません。

※議員個人への貴重なご意見・ご提言につきましては、当報告書では掲載しておりませんが、議員全員で回覧、及び当該議員に伝えております。

### 1. 議会傍聴での貴重なご意見

3月4日(水)のアンケート

NO	貴重なご意見・ご提言	ご回答
1	<p>〇〇議員の質問に対し通告であるにもかかわらず行政・執行部の答弁がアバウトで質問に対し、市長・各担当課長ともに的を得ていない(的をえる事ができない? 調査・検討不足?)。〇〇議員の質問・再質問等は、「いつまでに、誰が、どのように、どんなスケジュールで」を聞いており、市民にとって(小生にとって)明瞭化・見える化を実現するものであったと考えます。それに対して、答弁があいまい・おぼろげであり、せめて次回定例会までに答弁できなかった事案(質問)に対して明らかにすべきと考える。</p> <p>上記実現がために「検討します」等の行政答弁に対し、一覧表を作りフォローすべき。現状、一覧表を事務局に依頼しており、より良い矢板に変革する(DX)期待する。今まで通りでは、矢板は死滅していくかと考える。</p>	貴重なご意見ありがとうございます。
2	工夫をすれば発言時間が増えるのでは?	貴重なご意見ありがとうございます。議員一人あたりの発言時間30分の範囲内で、工夫しながら一般質問してまいります。

2026年4月16日

上記のとおり、報告いたします。

矢板市議会議長 宮本 莊山

## 議会傍聴アンケート 報告書 NO.3

※頂きました貴重なご意見・ご提言については、できるかぎり原文のままご紹介しておりますが、当報告書を読んでいただく方にもわかりやすくお伝えするため、一部、加筆修正をしております。

※個人や組織などへの誹謗中傷となる可能性のあるご質問・貴重なご意見は、当報告書ではご紹介しておりません。

※議員個人への貴重なご意見・ご提言につきましては、当報告書では掲載しておりませんが、議員全員で回覧、及び当該議員に伝えております。

### 1. 議会傍聴での貴重なご意見

3月4日(水)のアンケート

NO	貴重なご意見・ご提言	ご回答
3	答弁を行う方が演壇を使う基準が分からない。 他の議会では、発言者以外も水・お茶などを飲めるが、矢板市は？	発言は、初回は会議規則に基づき登壇し、2回目以降は円滑な審議のため議席や執行部席で行う運用としています。また、発言者以外の水分補給は、会議の進行に配慮し、休憩中等に控え室にて行うとしております。
4	行政側の女性比率が高いのに感心した。	貴重なご意見ありがとうございます。

2026年4月16日

上記のとおり、報告いたします。

矢板市議会議長 宮本 莊山